

## 2009年度 高校生の赤ちゃんふれあい体験学習の実践内容とその効果

神戸大学大学院人間発達環境学研究科  
ヒューマンコミュニティ創成研究センター子ども・家庭支援部門

部門責任者 伊藤 篤  
教育研究補佐員 寺村ゆかの

## I. はじめに

部門の主たるプロジェクトのひとつとして、将来家庭を持ち親になる可能性のある子ども・青年が、幼い命の大切さを実感し（養護性の獲得・促進）、赤ちゃんの成長を観察し（乳児の発達理解）、自分が親になることを考える（親としてのレディネス定着）ための学習プログラム実践とその効果に関する評価を、2005年度から継続的に実施してきた。2005年度には、神戸市立福住小学校の6年生を学習者とした単発の「赤ちゃんふれあい体験学習」を、2006年度および2007年度のプログラムは神戸大学大学院人間発達環境学研究科のサテライト施設「のびやかスペース あーち」において近隣の小学生・中学生を学習者とした長期間の「赤ちゃんふれあい体験学習」をおこなった。そして、2009年度は、2005年9月の「あーち」開設当初より、人形劇プログラムを「あーち」で年1回ずつ担当してきた兵庫県立西宮甲山高等学校および私立神戸龍谷高等学校の生徒を対象とした「高校生の赤ちゃんふれあい体験学習」を実施した（表1参照）。なお、2008年度は、2009年度の「高校生の赤ちゃんふれあい体験学習」を本格的に実施する前の試行的実践を実施した。

表1 2005年度～2009年度までに実施した「赤ちゃんふれあい体験学習」の概要

| 年度   | 実施場所            | 対象（学習者）              | 実施期間                       | 協力者             |
|------|-----------------|----------------------|----------------------------|-----------------|
| 2005 | 神戸市立<br>福住小学校   | 同小学校6年生              | 2006年2月<br>17日・24日         | 地域の子育<br>てサークル  |
| 2006 | のびやかスペース<br>あーち | 小学4～5年生<br>(近隣校より募集) | 2006年5月～12月<br>(毎月1回 計8回)  | あーちの親<br>講座参加者  |
| 2007 | のびやかスペース<br>あーち | 中学1～3年生<br>(近隣校より募集) | 2007年5月～12月<br>(毎月1回 計7回)  | あーち」の親<br>講座参加者 |
| 2008 | のびやかスペース<br>あーち | 高校3年生<br>西宮甲山・神戸龍谷   | 2008年10月～12月<br>(毎月1回 計3回) | あーちの親<br>講座参加者  |
| 2009 | のびやかスペース<br>あーち | 高校1～3年生<br>西宮甲山・神戸龍谷 | 2009年5月～12月<br>(毎月1回 計7回)  | あーちの親<br>講座参加者  |

本報告は、この 2009 年度に実施した高校生を対象とした次世代育成プログラム「赤ちゃんふれあい体験学習」の実践内容を紹介するとともに、このプログラムの効果に関する検討結果を示すものである。プログラムの内容および効果検証の方法は、すでにこれまでの報告書によって公表している 2005 年度～2007 年度のプログラムの内容および方法と基本的に同じである（伊藤 2008）。

## II. 本報告の目的

高校生が長期的・継続的に赤ちゃん（0歳児）とふれあうという次世代育成支援プログラムの効果を検証することが本報告の目的である。この学習プログラムは、カナダでおこなわれてきた「ルーツ・オブ・エンパシー」という青少年の共感性を高める実践を参考に構成されている。この「ルーツ・オブ・エンパシー」は、半年以上にもわたり、同じ赤ちゃんをひと月に1回ずつ（年に9回で、1回ごとに「ふれあいのセッション」をくださった「事前学習」と「事後学習」がセットになっている）学校に招き、青少年が赤ちゃんの成長を実感しながら「命の尊厳」や「養護性」を学ぶことを通して、「暴力を抑制し共感性を高める」という短期的目標と「将来の親になるためのレディネスを育む」という長期的目標を同時に達成することをねらいとしたプログラムである。この方法にしたがい、2009年5月から同年12月まで毎月第2土曜日（10：30～12：00）・計7回、高校生を対象とした「ふれあい体験学習」をおこなった（内容の詳細は後述する）。本報告では、まずこの「ふれあい体験学習」の内容を詳述する。さらに、研究的視点から検討されたのは、乳児およびその親と長期的・継続的にふれあいという実体験を通して、高校生が「自分の親や家族に対する肯定的な態度・自分が親になることに対する肯定的な態度を身につけることができるかどうか」「赤ちゃんの成長過程に関する理解がどの程度深まるのか」「感情面に焦点を当てた共感性が高められるかどうか」であった。本報告では、以上の3点に関して、質問紙調査（文章完成法および心理尺度を利用）を学習開始直前と学習終了直後に高校生を対象に実施することによって明らかにされる変容を分析した結果を示す。

## III. 学習者および協力者の属性・特徴と参加状況

学習者は高校生とした。これは、2006 年度および2007年度に実施した長期的・継続的ふれあい体験学習が小学生や中学生に対して一定の効果をもつことが実証されたため、同様のふれあい体験学習がさらに年齢の高い青年期にある青年にも効果的であるのかどうかを確認したかったためである。すでに述べたように、学習者は、ふれあい体験の場所である「のびやかスペース あーち」において数年前から「人形劇」プログラムを担当してきた2つの高等学校から、希望者を募った。その結果、神戸龍谷高等学校からは9名（すべて女子）が、西宮甲山高等学校からは10名（男子3名・女子7名）がこのプログラムに参加することになった。しかし、2009年に流行した新型インフルエンザの影響で、神戸龍谷高等学校の生徒全員が秋以降に参加を自粛したため、事後テストを受けられなかった。したがって、本報告の前提となる分析対象は、西宮甲山高等学校からの10名だけとなった。これら10名のほとんどは、将来、保育関係の職につきたいと考えている生徒であった。

ふれあい体験学習を実施するには、ふれあいの対象である乳児（0歳児）とその親の協力が必要である。これに関しては、従来と同様、「のびやかスペース あーち」で毎年実施している「0歳児のパパママセミナー」の参加者に協力者となるよう依頼した。このセミナーの参加者は、神戸市灘区内に在住する父母である。灘区保健福祉部から、2008年12月生まれの赤ちゃんがいる家庭に、「0歳児のパパママセミナー（月齢に応じた養育のありかたを学ぶセミナー）」の受講を勧誘し、同時に「赤ちゃんふれあい体験」への協力を求める案内文を2009年3月末日に、同区で実施される乳児4か月健診の案内と一緒に同封した。2009年4月末日を締め切りとし、参加申込書を自宅からファックスまたは郵送で「のびやかスペース あーち」に提出するという手続きをとった。参加を申し込んだ親子は22組であった。

学習者および協力者の「体験学習」「セミナー」への参加状況を表2に示す。この表から分かるように、特に高校生の出席率は非常に高く、生徒たちのこのプログラムに対する関心や動機の高さが8か月間を通して高く維持されていると言える。これに対し、協力者の出席率を見ると、第1回目（5月）は100%であったが、それ以降は70%前後で推移しており、父親の参加はさらに少ないという状況であった。

表2 高校生の赤ちゃんふれあい体験学習の学習者・協力者の参加状況

| 時期  | 学習者の出席状況（母数10名） | 協力者の出席状況（母数22組）            |
|-----|-----------------|----------------------------|
| 5月  | 9名 90.0%        | 22組 100.0%<br>うち父親8組 36.4% |
| 6月  | 学園祭につき全員欠席      | 17組 77.3%<br>うち父親8組 36.4%  |
| 7月  | 10名 100.0%      | 17組 77.3%<br>うち父親4組 18.2%  |
| 9月  | 9名 90.0%        | 15組 68.2%<br>うち父親4組 18.2%  |
| 10月 | 9名 90.0%        | 12組 54.5%<br>うち父親4組 18.2%  |
| 11月 | 10名 100.0%      | 16組 72.7%<br>うち父親4組 18.2%  |
| 12月 | 9名 90.0%        | 16組 72.7%<br>うち父親5組 22.7%  |

#### IV. プログラムの内容

当初の計画では、5月から12月までの8か月間に、8月を除く7回の学習日を設定していたが、6月は、学習者である高校生の学校で開催される学園祭の日とふれあい学習が可能な0歳児のパパママセミナーの開催日とが重なってしまったため、実施できなかった。したがって、高校生は計6回の体験学習を経験したことになる。ふれあい体験学習は、すでに述べたように毎月第2土曜日の午前中（90分間）に実施されたが、「事前学習」セッション・「ふれあい」セッション・「事後学習」セッションの3部構成になっていた。3つのセッションのおおまかな時間配分は、順に約35分・約35分・約20分であった。表3は、6回の「事前学習」セッションで実施されたセミナーのテーマとその内容を整理したものである。セミナーの内容の多くは、各回の時期における0歳児の月齢に応じた発達の特徴（12月生まれの乳児を募集しているため、開催月が月齢に対応する）を解説するものであった。この時間帯には、同じ大学サテライト施設の別室で「0歳児のパパママセミナ

一」が実施されており、「ふれあい」セッションの時間になったら、高校生がその部屋に移動して、各自が適宜0歳児とその親たちと交流をした。交流の仕方は基本的に学習者・協力者に任されていたが、表3の第2回・第3回に記したように、観察ポイントや実験ポイ

**表3 高校生の赤ちゃんふれあい体験学習における事前学習の学習テーマとその内容**

|            | ◆学習テーマ/学習内容  |
|------------|--|
| 第1回<br>5月  | ◆生後5か月ころまでの赤ちゃんの発達/1か月毎の発育・発達の様相を説明<br>◆生後5か月ころまでの赤ちゃんの親(特に母親)の気持ち<br>◆出産後まもなくの母親のニーズとおもな支援  |
| 第2回<br>7月  | ◆6~7か月頃の赤ちゃんの運動面の発達/寝返りと視覚世界、腹這い・お座りと手との関係を説明した後、その日の観察ポイント(どの程度自分の体をコントロールしているか)と実験ポイント(モノを手の届きそうな場所に置いてみる)も提案                                  |
| 第3回<br>9月  | ◆9~10か月の赤ちゃんの発達/掌握、喃語、つかまり立ちと尻もちについて説明した後、対象の永続性の獲得を確認できるような実験ポイントも提案  |
| 第4回<br>10月 | ◆生後9~12か月ころの赤ちゃんの発達/体重・身長、姿勢・運動、手や指、栄養と離乳食、コミュニケーション、人見知り・分離不安・後追い、遊びを説明<br>◆生後9~12か月ころの赤ちゃんの親(特に母親)が心配・不安なこと/「あーち」の相談記録78件から選択した事例について高校生に考えさせる |
| 第5回<br>11月 | ◆保育士と子育て支援/保育所内における育児支援、保育所外における育児支援、育児支援において保育士に求められること   |
| 第6回<br>12月 | ◆お誕生日おめでとう/誕生会における出し物(人形劇とペープサート)の準備と練習  |

ントを提案して「ふれあい」セッションで試してみることを促した場合もあった。このセッションが終わったら、高校生は「事前学習」セッションでセミナーを受けた部屋に戻り、振り返りの時間としての「事後学習」セッションでは、①赤ちゃんとのふれあいの内容、②赤ちゃんの親との交流の内容、③当日に学んだり感じたりした内容、④次回のふれあいの時にしてみたいことや気をつけたいこと、を「学習シート」に記入した。

## V. 調査の内容

プログラム初日の第1回目(5月)の「事前学習」セッションを開始する直前にプレテストを、プログラム最終日の第6回(12月)の「事後学習」セッションが終了した直後にポストテストを実施した。プレテストは次に記すA~D、ポストテストはプレテストのうちAを除くB~Dで構成されていた。なお、プレテスト時に欠席した高校生1名およびポストテスト時に欠席した高校生1名については、質問紙を教師が持ち帰り、翌週の早い時期に学校で実施した。記入済みの質問紙は教師が筆者に郵送するという形で回収した。

- A. 「赤ちゃんを近くで見たことがあるかどうか（はい・いいえ）」「赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしたことがあるかどうか（はい・いいえ）」「赤ちゃんにふれたり抱っこしたいと思うか（はい・どちらでもない・いいえ）」を選択肢で問うもの。3つ目の質問に対しては、その理由の記載を求めた。これは、赤ちゃんに関する過去経験とふれあいに対する期待を調査するための質問である。
- B. 「自分の家族に対するイメージ」「自分の親に対するイメージ」「自分が親になることのイメージ」を文章完成法で問うもの。これは、親や家族に対する態度・自分が親になることに対する態度が、どの程度肯定的に捉えているのかどうかを調査するための質問である。
- C. 「赤ちゃんが生まれること」「おっぱいをすう赤ちゃん」「泣いている赤ちゃん」「笑っている赤ちゃん」「ねんねしている赤ちゃん」「おむつをしているあかちゃん」「ものにつかまって立とうとしている赤ちゃん」「はいはいをしている赤ちゃん」「立って歩くようになった赤ちゃん」「モノをなめる赤ちゃん」「『あーあー』とか『うーうー』とか言う赤ちゃん」「ことばをしゃべる赤ちゃん」に対するイメージを文章完成法で問うもの。これは、赤ちゃんの発達に関する理解の深まりを調査するための質問である。また、この質問に対する回答を、赤ちゃんに対する「共感性」の高まりを調べるためのデータとして、過去の小学生および中学生を対象としたデータとともに再分析した。
- D. 加藤・高木（1980）が開発した「情動的共感性尺度（全25項目・7件法）」に対して回答を求めるもの。この尺度は「他者の情動や感情を感じ取り、それを思いやる力」であり、具体的な援助行動の有無にも関連するといわれている。「感情的暖かさ（10項目）」「感情的冷淡さ（10項目）」「感情的被影響性（5項目）」という3つの下位尺度で構成される。これは、共感性の程度を調査するための質問であり、2007年度におこなった中学生を対象とした結果とも比較する。

## VI. 調査の結果

### A. 赤ちゃんに関する過去経験とふれあいに対する期待

学習者の赤ちゃんに関する過去経験とふれあいに対する期待を問う質問に対する回答結果を整理した（表4）。この表から、ほとんどの学習者が体験学習以前に赤ちゃん（乳児）との接近・接触経験（近くで見たことがある・ふれたり抱っこしたりしたことがある）を有していることが分かる。また、体験学習への期待に関する質問（ふれたり抱っこしたりしたいか）に対し、ほとんどの学習者は肯定したが、その理由は「将来の準備：2名」「情緒的関心（かわいい・接してみたい・感情がなごむ）：5名」「観察的関心（反応を見たい・顔が見たい）：2名」に分類できる。約半数の学習者は情緒的な理由から「ふれあい」に期待していることがうかがえる。この問いに対し「どちらでもない」と回答した者1名の理由は「抱く方法がわからない」であり、過去に接触経験がない（ふれたり抱っこしたりしたことがない）と回答した2名のうち1名であった。以上から、ほとんどの学習者は「ふれあい体験学習」に対して期待感をもっており、この結果は、すでに表2で示した参加率（出席率）の高さと対応している。

表4 赤ちゃんに関する過去経験とふれあいに対する期待に関する集計結果

---

|                       |
|-----------------------|
| ○赤ちゃんをすぐ近くで見たことがあるか   |
| 「ある」9名：90% 「ない」1名：10% |

---

|                          |
|--------------------------|
| ○赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしたことがあるか |
| 「ある」8名：80% 「ない」2名：20%    |

---

|   |
|---|
| ○赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしてみたいか  |
| 「したい」9名：90%   |
| 理由：可愛いと思うから／かわいいし、触れてみたいから／将来自分に子どもができた時のため／赤ちゃんが好きで、赤ちゃんの反応を見てみたい／赤ちゃんの顔がよく見えるから／赤ちゃんとあまり接したことがないので／自分が親になった時にちゃんと抱けるようにするため／かわいいから／感情がなごむから |
| 「どちらとも言えない」1名：10%   |
| 理由：抱っこはしたいが、その方法が分からない  |
| 「したくない」0名：0%  |

---

## B. 親や家族に対する態度・自分が親になることに対する態度

この指標は、プレテスト時とポストテスト時の2回にわたって文章完成法によって測定されたものである。学習者にとって「①親に対する態度」「②家族に対する態度」「③自分が親になることに対する態度」のという3つの観点を設定した。各観点に関する学習者10名の記述をプレテスト・ポストテストの順に記載し、その記述数の変化（量的分析）と記述内容の変化（質的分析）を検討した。量的分析としては、一人あたりの記述数（＝平均記術数）を算出した。質的分析としては、それぞれの記述をポジティブ（p）・ニュートラル（n）・ネガティブ（ne）に分類した上で、各カテゴリの個数をカウントした。

### ① 家族に対する態度に関する結果

<プレテスト>

#### ○記述内容

居場所（p）、支えである（p）、必要不可欠な存在（n）／大切（p）／大切な存在（p）／家族の一員（n）／安らぎ（p）、リラックスできる存在（p）／いなくてはならない（n）、大切（p）、失いたくない（p）／一緒にいていちばん落ち着く存在（p）／大切な存在（p）、いちばん信頼できる（p）、きずなが強い（p）／いちばんやすい場所（p）、大切な存在（p）／宝（p）、居場所（p）、支えてくれる人（p）

#### ○ポジティブな回答の整理

大切（失いたくない）・宝：7 居場所・リラックス・落ち着く・安らぎ：6 支え・信頼：3 絆が強い：1

#### ○ニュートラルな回答の整理

家族の一員：1 いなくてはならない：1 必要不可欠：1

記述数の平均値：2.0／カテゴリ分類 ポジティブ：17 ニュートラル：3

<ポストテスト>

○記述内容

かけがえのない存在 (p)、良き相談相手 (p)、必要不可欠である (n) / 大切 (p)、尊敬できる (p)、一生つながっている (p) / 宝物 (p)、大切 (p)、尊敬できる (p) / 大切 (p)、必要 (n)、重要 (n) / 大切 (p)、気楽にできる存在 (p) / かけがえのない存在 (p)、宝物 (p)、大切 (p)、一生失いたくない (p) / 大切な存在 (p)、いないと困る (n)、落ち着く場所 (p) / 一番大切な存在 (p)、切っても切れない絆 (p)、一番信頼できる存在 (p) / 安心する存在 (p)、頼れる存在 (p)、大切な存在 (p) / 大切なもの (p)、かけがえのないもの (p)、ぬくもり (p)、生命の根源 (n)

○ポジティブな回答の整理

大切 (失いたくない)・宝・かけがえのない：15 尊敬・信頼・相談相手：5 気楽・落ち着く・安心・ぬくもり：4 つながり・絆：2

○ニュートラルな回答の整理

必要不可欠：1 必要：1 重要：1 いないと困る：1 生命の根源：1

記述数の平均値：3.1／カテゴリ分類 ポジティブ：26 ニュートラル：5

【変化について】

記述量は、平均 2.0 個から 3.1 個に増加した。ポジティブな回答とニュートラルな回答の割合はプレ・ポスト間で変化は見られなかった。また、「失いたくない・かけがえのない大切な存在である」とする回答がほぼ倍増した。ふれあい体験学習によって自分の家族に対する肯定的意識が高まったと推測できる。

## ② 親に対する態度に関する結果

<プレテスト>

○記述内容

尊敬の対象 (p)、よき相談相手 (p)、大切である (p) / 尊敬できる (p) / いちばん感謝している人 (p) / 家族の一員 (n)、感謝している (p) / いちばん頼れる存在 (p)、いちばん私を支えてくれる (p)、いちばん私のことを知って (理解して) してくれている (p) / 必要 (n)、かけがえのない (p)、失いたくない (p) / 友だちみたいな感じ (p) / 育ててもらった存在 (n)、人生のアドバイザー (p)、たまに友だち (p) / 頼れる存在 (p)、信頼できる人 (p)、尊敬できる人 (p) / 唯一無二の存在 (n)、重宝 (n)、良きパートナー (p)

○ポジティブな回答の整理

尊敬・相談相手 (アドバイザー)・支え・信頼：9 理解者・友人・パートナー：4 大切 (失いたくない)・かけがえのない：3 感謝している：2

○ニュートラルな回答の整理

家族の一員：1 必要：1 育ててもらった存在：1 唯一無二の存在：1 重宝：1

記述数の平均値：2.3／カテゴリ分類 ポジティブ：18 ニュートラル：5

## <ポストテスト>

### ○記述内容

尊敬できる存在 (p)、かけがえのない存在 (p)、いなくてはならない存在 (p) / 尊敬できる (p)、人生の先輩 (n)、道しるべ (p) / 必要 (n)、大切 (p) / 大切 (p)、必要 (n)、重要 (n) / 大切 (p)、相談相手 (p) / よき理解者 (p)、大切 (p)、一生失いたくない人 (p)、尊敬できる (p) / 友達みたいな人 (p)、時々厳しい (p)、頼れる人 (p) / 何でも相談できる存在 (p)、私のことを思って厳しいことを言ってくれる存在 (p)、何にも代えられない存在 (p) / 信頼できる存在 (p)、安心できる存在 (p)、なくてはならない存在 (p) / 命を守ってくれる存在 (p)、目標 (p)、尊敬すべき存在 (p)、今まで支えてくれた存在 (p)、将来は自分が守ってあげなければならない存在 (p)

### ○ポジティブな回答の整理

尊敬・相談相手 (アドバイザー)・支え・信頼 : 9 目標・道しるべ : 2 大切・かけがえのない・なくてはならない・失いたくない・代えがたい : 9 安心・守ってくれる (た) : 2 厳しい : 2 理解者・友人 : 2 自分が将来守る存在 : 1

### ○ニュートラルな回答の整理

人生の先輩 : 1 必要 : 2 重要 : 1

記述数の平均値 : 3.1 / カテゴリ分類 ポジティブ : 27 ニュートラル : 4

### 【変化について】

記述量は、平均 2.3 個から 3.1 個に増加した。ポジティブな回答の割合は、プレからポストにかけて約 10% 増加した。また、「失いたくない・かけがえのない大切な存在である」とする回答がほぼ 3 倍となった。自分の家族に対する態度に関する結果と同様に、ふれあい体験学習によって自分の親に対する肯定的意識が高まったと推測できる。

## ③ 自分が親になることに対する態度に関する結果

### <プレテスト>

#### ○記述内容

命に対する重みを実感すること (p) / 大変 (ne)、新しい家族ができる喜び (p) / 未記入 / 責任がついてくる (p) / 子どもを育てるということ (n)、喜び (p)、夢 (p) / 大変 (ne)、ちゃんと育てられるか不安 (ne) / いろんな責任を負うこと / 頼ってもらえる存在、大切なものが増える、ちゃんと意見を聞けるようにする / 大変なことだと思う (ne)、責任感があると思う / 守るものが増えた、家族が増えた (n)、大人になった (n)

#### ○ポジティブな回答の整理

命の重みを実感すること・責任感 : 4 人の意見が聞けるようになること : 1 (新しい家族ができる) 喜び・夢 : 3 頼られる存在になること : 1 守るもの・大切にすることが増える : 2

#### ○ニュートラルな回答の整理

家族が増える : 1 大人になった : 1 子育てをする : 1

#### ○ネガティブな回答の整理

大変：3 不安：1

記述数の平均値：1.8／カテゴリ分類 ポジティブ：11 ニュートラル：3 ネガティブ：3

<ポストテスト>

#### ○記述内容

命の重みを感じる事 (p)、きちんと責任をもつ事 (p)、成長すること (p) / 成長 (p)、教える (p)、(子どもから) 学ぶ (p) / 責任者 (p)、重要 (n)、人生の第一歩 (n) / なりたい (p)、まだ先の事 (n)、重要だ (n) / すばらしい事 (p)、夢 (p) / 育てるのが大変 (ne)、うれしい事 (p)、責任感が必要 (p) / むずかしい事 (ne)、成長できる、覚悟してからなるべき (p) / 宝物が増える事 (p)、自分に責任を持つことになる (p)、一番重要な仕事 (n) / 覚悟が必要だと思う (p)、大変そうだけど楽しみ (p)、責任重大 (p) / 子どもの目標となる人物になる事 (p)、最後まで見守ってあげる事 (p)、一家の大黒柱として自覚を持つ事 (p)

#### ○ポジティブな回答の整理

命の重みを実感する・責任感・覚悟や自覚が必要：9 人として成長すること・子どもの目標になる：4 子に教える・子から学ぶ・子を見守る：3 なりたい・楽しみ：2 すばらしい・夢・うれしい・宝が増える：4

#### ○ニュートラルな回答の整理

重要(な仕事)：3 まだ先の事：1 人生の第一歩：1

#### ○ネガティブな回答の整理

大変：1 むずかしい：1

記述数の平均値：2.9／カテゴリ分類 ポジティブ：22 ニュートラル：5 ネガティブ：2

#### 【変化について】

記述量は、平均 1.8 個から 2.9 個に増加した。ポジティブな回答の割合は、プレからポストにかけて約 10%増加した。また、ポジティブな回答の増加に相当分には、覚悟や自覚の必要性、人間的成長、子どもを想定した働きかけや姿勢など具体性をともなった内容が含まれている。一方、一部の学習者にとっては、親になることを「大変である・難しい・不安である」などネガティブに捉えていることもうかがえる。全体的には、自分の家族・親に対する態度に関する結果と同様に、ふれあい体験学習によって自分が親になることに対する肯定的意識が高まったと推測できる。

### C-1. 赤ちゃんの発達の理解に関する結果

この指標は、プレテスト時とポストテスト時の 2 回にわたって文章完成法によって測定されたものである。すでに述べたように、生後 1 年間における乳児の発達段階に合わせた赤ちゃんの姿を書き出した文頭を 12 の側面から提示し、文章完成法によって「赤ちゃんの発達に関する理解」の程度を検討するものである。各側面に関する学習者 10 名の記述をプレテスト・ポストテストの順に記載し、その記述数の変化(量的分析)と記述内容の変化(質的分析)を検討した。量的分析としては、一人あたりの記述数(=平均記述数)を算出した。質的分析としては、それぞれの記述のうち、「発達の特徴」を示した記述に

は波線 (\_\_\_\_\_) を入れ、乳児に対する「共感性」を示した記述は「赤」文字してある。共感性に関しては「C-2. 赤ちゃんに対する共感性に関する結果」のところで検討する。ここでは赤ちゃんの発達の理解について、その内容の変化を中心に考察する。

◆「赤ちゃんが生まれること」に関する結果

<プレテスト> 記述数の平均値：1.5

命が誕生すること／うれしい／すばらしいこと／いいことだと思う／喜び、嬉しい、苦しい、痛い、辛い／うれしい、かわいい／おめでたい／大切なものが増える／うれしい／新しい命の誕生

<ポストテスト> 記述数の平均値：2.1

すてきなこと、素晴らしいこと／うれしい、お金がかかる、祝福／生命の誕生、うれしい、大変／生命の誕生／感動、うれしい／幸せなこと、うれしい／喜ばしい、幸せ、これから大変／感動的な出来事／喜ばしい、幸せ／新しい生命の誕生、感動の瞬間

【変化について】

ポストの時点で、1人当たり約2個の記述に増加したが、内容については大きな変化が見られたわけではない。この項目は「生まれること」に対するイメージを聞いているので、発達の理解としては人生（＝発達）の出発点、すなわち「誕生」ということにならざるを得ない。これについても、増加が見られてはいない。

◆「おっぱいを吸っている赤ちゃん」に関する結果

<プレテスト> 記述数の平均値：1.3

かわいい／かわいい／落ち着いていそう／未記入／愛しい、可愛い、幸せ／必死、かわいい／かわいい／おなかが空いている／かわいい、幸せそう／無我夢中

<ポストテスト> 記述数の平均値：1.3

かわいらしい／おおきなあれ／かわいらしい／かわいらしい／可愛い、愛しい／かわいい、お腹がすいているんだなあと思う／かわいい／お腹がすいているのかな？／かわいらしい／生きるために必死で頑張っている、安心している

【変化について】

プレ・ポスト間で記述の平均値には変化は見られなかった。母乳（ミルク）を飲むことは、空腹時の栄養補給であり、生命維持のための行為である。これを示す記述はポストの時点で2名に見られている。ここから、発達に関する理解の若干の深まりがうかがえる。

◆「泣いている赤ちゃん」に関する結果

<プレテスト> 記述数の平均値：1.3

かわいい、何を伝えたいのかを知りたくなる／元気／かわいい／未記入／可愛い、心配、不安、おろおろする／何かを伝えようとしている／かわいい／何かが気に入くない／かわいい／相手してほしい

<ポストテスト> 記述数の平均値：1.8

かわいらしい、何を伝えたいのかを知りたくなる／よしよし／かわいい／かわいらしい／可愛い、愛しい、心配／かわいい、何かを伝えようとしている／かわいい／何が気に入くないんだろう？／かわいい／お腹空いている、おしめがぬれている、さみしい、抱っこして

## ほしい、ぶつかって痛い

### 【変化について】

プレ時に比べポスト時のほうが平均記述数は若干増加しているが、これは、最後の学習者が、1人で5つ記述していることが原因である。また、「泣き」は、発達的には、自分の不快感・不安感・空腹・痛みなどを他者に伝達する手段であるが、これに相当する記述も増加しているが、これも、最後の学習者が、1人で5つ記述していることが原因である。ここから、発達に関する理解は全体的に見れば、必ずしも深まっているとは言えない。

#### ◆「笑っている赤ちゃん」に関する結果

<プレテスト> 記述数の平均値：1.5

可愛い／かわいい／かわいい／かわいいと思う／可愛い、安らぎ、幸せ、安心、つられて笑顔になる／かわいい、幸せそう／かわいい／かわいい／かわいい／愛くるしい

<ポストテスト> 記述数の平均値：1.5

ほほえましい、かわいい／かわいい／いやされる／かわいらしい／可愛い、愛しい、幸せ／かわいい、しあわせそう／一緒に笑ってしまう／（自分が）ほっとする／ほほえましい／うれしい、新しいものを見つけて興味がある時

### 【変化について】

記述数における平均値の増加は見られない。また、最後の学習者が「笑っている」背後の理由を述べているのが唯一発達に関する理解である。ここから、発達に関する理解は全体的に見れば、深まっているとは言えない。

#### ◆「眠っている赤ちゃん」に関する結果

<プレテスト> 記述数の平均値：1.4

可愛い、純粋だ／気持ちよさそう／かわいい／かわいいと思う／可愛い、愛しい／やわらかそう、かわいい、幸せそう／かわいい／どんな夢を見ているのか気になる／幸せそう／疲れ果てている

<ポストテスト> 記述数の平均値：1.6

いとおしい／気持ちよさそう／いやされる、ほっとする／ほっとする／可愛い、愛しい、安らぎ／かわいい、いやされる／ぼんぼんしたくなる／かわいい／幸せそう／遊び疲れている、お腹いっぱい、幸せ

### 【変化について】

記述数における平均値の増加はほとんど見られない。また、最後の学習者が「眠っている」ことの理由を述べているのが唯一発達に関する理解である。ここから、発達に関する理解は全体的に見れば、深まっているとは言えない。

#### ◆「おむつをしている赤ちゃん」に関する結果

<プレテスト> 記述数の平均値：0.6

可愛い／かわいい／未記入／未記入／可愛い／未記入／かわいい／かわいい／いつはずれるのかなあって想像する／未記入

<ポストテスト> 記述数の平均値：1.4

かわいい／かわいい／気になる／守りたくなる／可愛い、愛しい、楽しみ／かわいい、お

しりがかわいい／かわいい／おむつを替えなくて大丈夫かな？／かわいい／自然におむつが外れるので焦らず世話をしていく、ぬれていないか確認してあげる

#### 【変化について】

記述数は、一人当たり 0.6 個から 1.4 個と 2 倍以上増加している。しかし、最後の学習者が「おむつをしている」ことに関する発達の特徴を述べているにすぎず、全体的に見れば、発達に関する理解は深まっているとは言えない。

#### ◆「モノにつかまろうとしている赤ちゃん」に関する結果

<プレテスト> 記述数の平均値：1.2

助けてあげたくなる／手伝いたくなる／応援したくなる／「がんばれ」って言いたくなる／可愛い、嬉しい、成長を感じる／必死、かわいい／「がんばれ」って気持ちになる／かわいい／かわいい／未記入

<ポストテスト> 記述数の平均値：2.1

助けてあげたい、応援してあげたい／頑張れ！／応援したくなる、助けたくなる／応援したくなる／可愛い、愛しい、すごい／かわいい、必死／可愛い、愛しい、すごい／活発だなと思う／成長したなど感じる／いきいきしている、楽しそう／子どもの成長が嬉しい、手助けしたいけど最後まで見守る、その先に何を求めている気になる

#### 【変化について】

記述数は、一人当たり 1.2 個から 2.1 個と約 2 倍に増加している。しかし、ここでも、最後の学習者が「つかまり立ち」を見守る姿勢（自立して歩けるまでの過程として捉えている）としての発達の特徴を述べているにすぎず、全体的に見れば、発達に関する理解は深まっているとは言えない。

#### ◆「はいはい をしている赤ちゃん」に関する結果

<プレテスト> 記述数の平均値：1.4

見守りたい、可愛い／元気／かわいい／かわいいと思う／かわいい、自分のほうへ来てほしい／歩きたいと思ってそう、かわいい／かわいい／かわいい／かわいい／嬉しそう、頑張れっていいくなる

<ポストテスト> 記述数の平均値：1.5

かわいい／ステップアップ！／よしよしってしたくなる／かわいらしい／可愛い、愛しい、すごい／かわいい、必死、成長したなあ／おしりがかわいい／子どもの変化は早いと感じる／かわいい／興味を持ったモノのある場所まで自力で行こうとする（自分と世界の広がりを感じる）、自立へのスタート

#### 【変化について】

記述数における平均値の増加は見られない。また、6 番目の学習者の発達に関する記述が消え、最後の学習者が発達に関する記述を 2 つ書いていることから判断すると、発達に関する理解は全体的に見れば、深まっているとは言えない。

#### ◆「立って歩くようになった赤ちゃん」に関する結果

<プレテスト> 記述数の平均値：1.1

常に目が離せない／かわいい／かわいい／未記入／可愛い、後ろについてきてほしい／よ

くがんばったねー／かわいい／成長したなと思う／うれしく思う、成長したなあって思う  
／力がついたんだ

<ポストテスト> 記述数の平均値：1.8

助けてあげたくなる、見守りたい／一緒に歩きたい／成長を感じる、かわいい、手をつないで歩きたくなる／かわいらしい／可愛い、愛しい、すごい、感動／かわいい、必死／がんばってるって思う／一緒にお散歩行きたい／頑張れ！って思う／成長する過程にあつての第一歩、たくましい

#### 【変化について】

記述数は、一人当たり 1.1 個から 1.8 個と増加している。しかし、最後の学習者がプレテストの時点で記述した発達の特徴が消えているだけであり、全体的に見れば、発達に関する理解は深まっているとは言えない。

#### ◆「モノをなめる赤ちゃん」に関する結果

<プレテスト> 記述数の平均値：1.0

誤飲しないか心配だ／よだれたらしてる／かわいらしい／未記入／可愛い、心配／かわいい／かわいい／かわいい／注意してあげたくなる／好奇心旺盛

<ポストテスト> 記述数の平均値：1.2

かわいい／ガジガジ／かわいい／笑顔になる／可愛い、愛しい、食べてしまわないか心配／必死／おいしいの？と聞きたくなる／モノが清潔かどうか気になる／かわいい／触ってから口でモノを確かめている

#### 【変化について】

記述数における平均値の増加はほとんど見られない。また、最後の学習者が「モノをなめること」の発達の意味を述べているのみである。ここから、発達に関する理解は全体的に見れば、深まっているとは言えない。

#### ◆「あーあー とか うーうー とか言う赤ちゃん」に関する結果

<プレテスト> 記述数の平均値：1.1

可愛い、伝えたいことを知りたい／かわいい／かわいい／未記入／可愛い、ぷにぷにほっぺ／しゃべりたいと思ってそう／かわいい／何を言いたいのか気になる／かわいらしい／感情を表そうとしている

<ポストテスト> 記述数の平均値：1.2

何が言いたいかわりたくなる、かわいい／かわいい／いやされる／応援したくなる／可愛い、愛しい／何かを伝えようとしている／早く言葉になればいいと思う／早く「パパ」とか「ママ」と言って欲しくなる／ことばをしゃべるようになるのが楽しみになる／まだ喃語だけど必死にコミュニケーションしようとしている

#### 【変化について】

記述数における平均値の増加はほとんど見られない。しかし、ポストテストにおいて 10 名中 4 名が喃語を「言葉のお前の段階」として捉えていることから、この項目に関しては発達の理解がかなり進んだと言える。

#### ◆「ことばをしゃべる赤ちゃん」に関する結果

### <プレテスト> 記述数の平均値：1.2

可愛い、意思伝達をしたい／かわいい／かわいい／何をしゃべっているか気になる／可愛い、自分のことを呼んでほしい／かわいい／かわいい／一緒にしゃべったり聞いたりする／うれしく思う／感情を伝えるようになっている

### <ポストテスト> 記述数の平均値：1.3

かわいい、成長を感じる／成長したなあ／成長を感じる／応援したくなる／可愛い、愛しい、すごい／必死、成長したなあ／自分の気持ちを伝えてくれるようになって嬉しい／成長の早さを感じる／成長したなと感じる／未記入（自分がいたときはことばをしゃべる赤ちゃんはいませんでした）

#### 【変化について】

記述数における平均値の増加はほとんど見られない。また、プレテストで言葉を感情の伝達と捉えていた記述もポストテストにおいて消えている。ここから、発達に関する理解は全体的に見れば、深まっているとは言えない。

## C-2. 赤ちゃんに対する共感性に関する結果（小・中学生との比較）

先の「C-1. の赤ちゃんの発達の理解に関する結果」では、12の項目におけるプレテストとポストテストの記述結果から、学習者である高校生の赤ちゃんの発達に関する理解について検討してきた。2つの項目にのみ、発達についての理解が深まったことが確認できたが、ほとんどの項目では、発達についての理解が深まっていなかった。ここでは、同じ記述結果（1番目の「赤ちゃんが生まれること」を除く）を利用して、学習者である高校生の乳児に対する「共感性」がふれあい体験によって高められたかどうかを検討する。その際、過去におこなった小学生の結果および中学生の結果（伊藤 2008）も取り上げ、今回の高校生の結果と比較することにした。

ここで扱う共感性とは「他者の感情・要求・悩みを、推測する能力」「他者の感情・要求・悩みに対応しようとする態度」とする。例えば、「泣いている赤ちゃん」に対し、「うるさい」「かわいい」などの記述は共感性なし、「悲しい気持ち」「何かを訴えようとしている」「何とか泣きやませたい」などの記述は共感性ありと判断した。本報告書の10ページから14ページまでの「赤」の回答が共感性を表す記述である。これ同じ作業を、小学生の結果および中学生の結果についてもおこなった。

小学生・中学生・高校生のデータにおいて、共感性に相当する記述がどの程度含まれているのかを、質問項目ごとにカウントし、一人あたりの平均値を算出した結果を表5に示す。

表5から、多くの質問項目において、共感性に該当する記述数が増えていることがうかがえるが、校種別に共感性の増減を比較するために、プレとポストとの差が20ポイント以上を「増加」あるいは「減少」項目とし、その差が20ポイント未満を「無変化」項目として、その項目数をカウントした結果が表6である。年齢が高くなるにつれて、体験学習は共感性の高まりに効果的である傾向が見られる。そこで、表6を対象とし、比率の等質性の検定（Javascript Star）おこなったところ、 $\chi^2=4.61$  (.05

< p < .10) が得られた。残差分析の結果、小学生では 10%水準で増加が無変化より少なく、高校生では 5%水準で増加が無変化より多いことが明らかにされた。

ここから、子どもの年齢が高いほど、長期のふれあい体験学習によって乳児に対する共感性は高まると結論づけられる。なお、この結果に関しては、小学生や中学生よりも高校生の方が自分の考えを文字によって表現する能力が高い、すなわち、小学生や中学生は同じように共感的になったとしても高校生ほど十分に表現しきれないという解釈もありうる。しかし、表 6 の後にある枠内に抜粋した<例示>「おむつをしている赤ちゃん」の校種別結果を見ると、プレテストの時点で必ずしも高校生の表現力が小学生や中学生よりも高いとは言えないので、この結論は妥当性が高いと言えよう。

表 5 共感性記述数の一人当たり平均値の推移

| 質問項目    | 小学生<br>N=21→21 | 中学生<br>N=14→8 | 高校生<br>N=10→10 |
|---------|----------------|---------------|----------------|
| おっぱい    | 0.29→0.29      | 0.14→0.38     | 0.30→0.50      |
| 泣いている   | 0.52→0.62      | 0.36→0.88     | 0.70→1.00      |
| 笑っている   | 0.29→0.43      | 0.14→0.25     | 0.40→0.40      |
| 眠っている   | 0.29→0.24      | 0.07→0.25     | 0.50→0.60      |
| おむつ     | 0.10→0.10      | 0.00→0.00     | 0.00→0.50      |
| モノにつかまる | 0.67→0.90      | 0.43→1.00     | 0.60→0.90      |
| はいはい    | 0.19→0.76      | 0.14→0.50     | 0.30→0.50      |
| 立って歩く   | 0.24→0.10      | 0.29→0.38     | 0.40→0.80      |
| モノをなめる  | 0.24→0.33      | 0.50→0.50     | 0.30→0.50      |
| あー・うー   | 0.38→0.67      | 0.29→0.63     | 0.40→0.70      |
| ことば     | 0.19→0.29      | 0.14→0.00     | 0.40→0.30      |

表 6 校種別の共感性の増減 (数値は項目数)

|     | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 計  |
|-----|-----|-----|-----|----|
| 増加  | 3   | 5   | 8   | 16 |
| 無変化 | 8   | 6   | 3   | 17 |
| 計   | 11  | 11  | 11  | 33 |

<例示> 「おむつをしている赤ちゃん」の校種別回答

小学生

<プレテスト>

まだ小さい/赤ちゃんらしい/赤ちゃんらしい/まだ小さい/未記入/かわいい/未記入/かわいい/未記入/小さい子/かわいい/かわいい/トイレにいかない/未記入/おもらしをしても大丈夫/がんばって生きているような感じ/赤ちゃんらしい/未記入/未記

入／おさない／小さそう

<ポストテスト>

まだ小さい／未記入／小さいと思う／どんどん大きくなる／未記入 かわいい／未記入／  
幼児／小さい子／小さい赤ちゃん／かわいい／まだまだだと思う／おもらししてしまう／  
かわいい／ばたばたあばれる、早くどこかに探検に行きたいと思っている／かわいい／未  
記入／かわいい／まだ赤ちゃんだなあ／もぞもぞしている／まだ小さい人だな

中学生

<プレテスト>

未記入／赤ちゃんらしい／未記入／未記入／未記入／未記入／未記入／未記入

<ポストテスト>

ちいさい／赤ちゃんらしい／かわいい／ふっくらしている かわいい／かわいい／かわい  
い／赤ちゃんらしい／未記入

高校生

<プレテスト>

可愛い／かわいい／未記入／未記入／可愛い／未記入／かわいい／かわいい／いつはずれ  
るのかなあって想像する／未記入

<ポストテスト>

かわいい／かわいい／気になる／守りたくなる／可愛い、愛しい、楽しみ／かわいい、お  
しりがかわいい／かわいい／おむつを替えなくて大丈夫かな？／かわいい／自然におむつ  
が外れるので焦らず世話をしていく、ぬれていないか確認してあげる

#### D. 情動的共感的尺度に関する結果

2007年度の中学生8名と2009年度の高校生10名には、プレテストとポストテストの時に、加藤・高木（1980）が開発した「情動的共感性尺度（全25項目・7件法）」に対して回答を求めた。この尺度は「他者の情動や感情を感じ取り、それを思いやる力」であり、具体的な援助行動の有無にも関連するといわれている。「感情的暖かさ（10項目）」「感情的冷淡さ（10項目）」「感情的被影響性（5項目）」という3つの下位尺度で構成される。

中学生と高校生のプレテスト時の尺度得点とポストテスト時の下位尺度得点について、対応のあるt検定をおこなった。その結果を表7および表8に示す。表から明らかのように、いずれの下位尺度得点においても有意差は得られず、ふれあい体験学習を受けた中学生および高校生はいずれにおいても、その共感性に変化は見られなかったと結論づけられる。この結果は、いわゆる天井効果によるものだと考えられる。加藤・高木（1980）には、十分に大きい標本を対象にした中学生の平均値や高校生の平均値が載せられているが、それらを「感情的暖かさ」「感情的冷淡さ」「感情的被影響性」の順に示すと、中学生については、52.91（7.32）、27.60（6.69）、21.53（3.84）となり、高校生については、54.69（7.27）、28.38（8.59）、23.01（4.21）である。これらと表7や表8の結果と比較すると、「感情的被影響性」を除いて、すでにプレテストの時点で「感情的暖かさ」の得点は高く、「感情的冷淡さ」の得点は低くなっている。すなわち、赤ちゃんふれあい体験学習に申し

込んだ中学生・高校生は体験をする前から十分に共感的であり、それ以上に共感性が高まりにくかったと言えよう。

表7 中学生における情動的共感性尺度のプレ・ポスト間の平均値の推移

|                | プレテスト        | ポストテスト       | t 値         |
|----------------|--------------|--------------|-------------|
|                | 平均 (標準偏差)    | 平均 (標準偏差)    | 有意確率        |
| 感情的暖かさ (10 項目) | 55.75 (6.73) | 56.75 (7.40) | t=0.33 n.s. |
| 感情的冷淡さ (10 項目) | 24.25 (3.92) | 26.50 (4.60) | t=2.05 n.s. |
| 感情的被影響性 (5 項目) | 22.88 (2.64) | 22.63 (3.38) | t=0.24 n.s. |

表8 高校生における情動的共感性尺度のプレ・ポスト間の平均値の推移

|                | プレテスト        | ポストテスト       | t 値         |
|----------------|--------------|--------------|-------------|
|                | 平均 (標準偏差)    | 平均 (標準偏差)    | 有意確率        |
| 感情的暖かさ (10 項目) | 56.90 (3.87) | 59.00 (4.47) | t=0.94 n.s. |
| 感情的冷淡さ (10 項目) | 25.20 (5.73) | 24.90 (5.97) | t=0.13 n.s. |
| 感情的被影響性 (5 項目) | 22.30 (2.67) | 22.70 (3.77) | t=0.27 n.s. |

## VII. まとめ

このプログラムに参加した高校生は、いずれも積極的に乳児とふれあいたいという希望・期待を持っており、毎回90%~100%の出席率がこの気持ちを裏づけていた。

自分の家族に対するイメージを体験学習前・後において文章完成法で調べたところ、ポジティブな回答とニュートラルな回答の比率は変化しなかったものの、記述量そのものは増加した。この増加分には、家族を「失いたくない・かけがえのない大切な存在である」とする回答が目立った。次に、自分の親に対するイメージを体験学習前・後において文章完成法で調べたところ、ポジティブな回答の比率が10%程度、そして記述量そのものも増加した。この増加分にも、家族を「失いたくない・かけがえのない大切な存在である」とする回答が大変顕著であった。さらに、自分が親になることに対するイメージを体験学習前・後において文章完成法で調べたところ、ポジティブな回答の比率が10%程度、そして記述量そのものも増加した。ここでの増加分は、覚悟や自覚の必要性、人間的成長などの理念的内容とともに、子どもを想定した働きかけや姿勢など具体性内容も含まれていた。以上から、ふれあい体験学習によって「自分の家族」「自分の親」「自分が親になること」いずれに対しても、高校生の肯定的意識が高まったと考えられる。

乳児の発達に関する理解に関して体験学習前・後において文章完成法によって調査したところ、「発達」を踏まえた記述が体験学習によって明確に増加するという傾向を見出すことはできなかった。ただし、同じ記述データを対象として、「他者の感情・要求・悩みを、推測している」あるいは「他者の感情・要求・悩みに対応しようとする態度を示し

ている」記述に該当するものを「共感性」の記述と定義し、2007年度実施の小学生のデータおよび2008年度実施の中学生のデータと合わせて分析・比較した結果、体験学習によって共感性が最も高まるのは高校生であることが実証された。

最後に、心理的尺度を用いた体験学習による「共感性」の変化を調べたところ、2008年度実施の中学生における結果と同様、高校生においても、天井効果によって統計的に有意な変容は見られなかった。

## 引用文献

伊藤篤 (2008) 「いのちを実感し親になることを考える体験学習」プロジェクト (I～III) 事業評価報告書 2007年度神戸市委託事業報告書 (全143頁) 【ウェブ上で公開】

<http://www.h.kobe-u.ac.jp/2145>

加藤隆勝・高木秀明 (1980) 青年期における情緒的共感性の特質 筑波大学心理研究 第2巻 33-42

## 附録

本報告書では、学習者である高校生が毎回のふれあい終了後の「事後セッション」のときに記載した「学習シート」の内容 (10 名分) を対象とした分析をおこなっていないが、附録 (参考資料) として、個人ごとに、番号、イニシャル、性別、日付、①赤ちゃんとのふれあいの内容、②赤ちゃんの親との交流の内容、③当日に学んだり感じたりした内容、④次回のふれあいの時にしてみたいことや気をつけたいこと、の順に記載する。

### No.1 A.S. 女

#### 2009/5/9

- ① 手をにぎって、表情をよみとろうとした。すでに立ちあがろうとするぐらい足の力が強くて、めっちゃ可愛かった。
- ② 夜泣きがなくなってきた、だいぶ落ち着いてきた。横向きに抱っこされるのが生まれた時から嫌いで、首がすわらない頃から縦向きに抱っこしていた。生まれた後は、なんで泣いているのか分からないから、落ち込んだ。
- ③ 赤ちゃんの目を見れば、ちょっと眠いんだということがわかった。
- ④ もう1回抱っこしたい。あと、もうすぐ離乳食に変えていくところってお母さんがおっしゃっていたので、7月に離乳食はどうかとかを聞いてみたい。

#### 2009/07/11

- ① おもちゃをあげてみた。ひとつ触っているときに、もう一つ渡して見たら、二つ持った！5月のときにふれあった赤ちゃんじゃなかったけど、今日来てた赤ちゃんみんな大きくなっていったように感じた。
- ② 一番大変なことは、お昼寝をまとまった時間じゃなく、30分とか15分など細切れなので、親側が眠れないことも多い。
- ③ おもちゃをあげると、まずは、なめて形を確かめているように見えた。赤ちゃんが何でも

口に入れてしまうのは、こういうことかと実感した。だから、ちょっとでも目を離したら、ボタンなどの小さなものを誤飲してしまうので、気をつけなければいけないあと感じた。とにかく今日も赤ちゃん皆、かわいかったです。

- ④ もっと抱っこさせてもらって、いっぱい話しかけてみたい。それから、三回目のおもちゃを与えたらどうなるかということも試してみたい。

#### 2009/9/12

- ① 実際に布でおもちゃを隠してみた。すると、すぐに布をぱっと外しておもちゃを見つけだしていた。
- ② 夜泣きをする。わりと元気で動き回るほうらしい。
- ③ 人の目をじっと見ていた。パパママセミナーの先生が話している姿を追うように見ていた。「いないいないばあ」をすると、口元がゆるんで笑ってくれた！また、赤ちゃんが「いないいないばあ」を逆に見せてくれてうれしかった。
- ④ 喃語がだいぶ出ていたので、次回会うときはもう少し話せるようになっていると思うので、もっとたくさんコミュニケーションをとりたい。

#### 2009/10/10

- ① ボールを投げてあげると、とても喜んで笑っていて、こっちまで幸せな気分になった。
- ② 夜泣きはあまりせず、1 か月くらい前からハイハイし始めてつかまり立ちするようになった。
- ③ 初めての「たっち」を見てしまった！積極的にお母さんの服を引っ張って、しきりに立とうとした。最近になってモノ（おもちゃ）を投げることを楽しいと感じるようになったらしく、たくさん投げてきて笑っていた。
- ④ 次回には、今日私が見た子はおそらく歩いているだろうと思うほどの成長だったので、歩くところをしっかりと観察したい。

#### 2009/11/14

- ① おもちゃを使って遊んだ。今日は課題がなかったので、これといったことはしなかったけれど、ずっとおもちゃを使ってみた。
- ② 歯が生えてきたので、よく噛むようになったとおっしゃっていた。実際によく噛んでいた。
- ③ ボードの紙がついている方は歯ざわりがよかったのか、裏を向けるととたんに噛まなくなった。目を見てにこっと笑うと、笑いかけてくれて、うれしそうに手をたたいていた。
- ④ 最後のふれあいなので、今まで学んだことを生かして赤ちゃんの成長をちゃんと見たいと思う。

#### 2009/12/12

- ① お菓子を一緒に食べた。生えたての歯でパリパリ食べている様子はとてもかわいかった。
- ② 半年くらいの時、夜泣きがひどかったと言っていた。歯が生えてくるのが遅いと言っていた。
- ③ 乳成分のアレルギーをもっている子（るかちゃん）で、今日もらったお菓子の成分もすごく気をつけてお母さんが見ていらっやして、こういうことを保育士になったら学んでいけなくてはいけないんだと思った。

- ④ セミナーでは、もらったプリントに沿ってさまざまなことを教えてくださって、とても勉強になりました。喃語など大学に入ってから学ぶようなこともたくさん学べて、これららの大学生活の保育の勉強において、いいスタートがきれて本当に良かったです。また、赤ちゃんとのふれあいは、次の1カ月後が待ち遠しいほど楽しいもので、毎回ふれあい体験が終わるたびに心が温かい気持ちになれて、幸せでした。このような貴重な体験を7か月にわたりさせていただいて、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

**No.2 A.H. 女**

**2009/5/9**

- ① めっちゃかわいい！手をさわったし、足もさわったし、顔はこわくてちょっとふれただけだったけど…。抱っこさせてもらって、嬉しかったし、ちょっとこわかった。でも、よかった！
- ② 一人目で大変。きょうだいの話とか、肌のこととか。
- ③ やっぱり一人一人違うなって思った。めっちゃ幸せな気分になった！
- ④ あんまり緊張しないで、いっぱいいろんなことを聞きたい！

**2009/07/11**

- ① 抱っこさせてもらって、おもちゃで遊んだ。興味あるモノはずっと持っているけど、興味のないモノはすぐポイしちゃう。
- ② 見つけたものは全部口にいれちゃうとか…。下の前歯が生えていた！
- ③ みんな前よりちょっと大きくなっていて！おもちゃを1回見せて、顔の横とかにおいたら、見なくても、手が伸びてくる。
- ④ もっといっぱい遊びたい！次来るときは、2か月たってるから、どう成長したか見たい。何ができるようになったとか…。

**2009/9/12**

- ① おもちゃをたたいたりして音をだして遊んだ。ずっと泣いていて、どうすればいいか困った。
- ② 赤ちゃん2人いて、2人とも人見知りする。睡眠時間が長い。すぐにどっかに行っちゃう。ずっとお母さんの近くにいる子や、どっかに行っちゃう子、いろいろいるなと思った。
- ③ みんな寝る時間帯は一緒なんだと思った。いつも接しているときに眠くなってる。
- ④ もっと積極的に接したい

**2009/10/10**

- ① おもちゃで遊んだ。ものを掴むとき、指先にすごく力を入れてた。
- ② あまり話をしていない。
- ③ つかまり立ちをしていて、ジャンプまではいかなかったけれど、びよんびよんしてた。つかまり立ちから、ちょっとだけ自分で立ってた。フラフラしながらも、立とうとしてたから、頑張れ！って思った。
- ④ つかまり立ちのお手伝いをして、いっぱい遊びたい。

**2009/11/14**

- ① おもちゃで遊んだり「たかいたかい」したりしました。ハイハイで壁際まで行って、壁伝い歩きしてました。走っている子がいて成長差ってあるんだなあと思いました。
- ② ずっと赤ちゃんと遊んでたから、親とはそんなに話をしていないです。
- ③ 今日一緒に遊んだ子は、全然泣かなかったから「たかいたかい」したり「いないいないばあ」したり、いろんなことして遊べました。楽しかったです。
- ④ 次で最後だから、目一杯遊びたいです。お母さんともお話したいです。

**2009/12/12**

- ① お菓子をあげたり、おもちゃで遊んだりしました。
- ② 特に何もはなしていない…
- ③ みんな音に反応してかわいかった。
- ④ 1年経って…めっちゃ大きくなったなあと思いました。ほとんどの子が、立って伝い歩きできるようになって、成長したなあと思いました。こんなふれあい会をまたしたいと思いました。ありがとうございました。

**No.3 K.T. 男**

**2009/5/9**

- ① 手をにぎったり、抱っこしたり、泣いている子を泣きやましたり。かわいくてあたたかかった。
- ② 赤ちゃんの手の力の強さとか、足の強さなど、赤ちゃんについて、誕生日はいつとか、昔クラブはしていたのか、など。
- ③ 赤ちゃんによっては、座っているより寝ている体勢のほうが楽な子もいれば、座っているほうが楽な子もいた。手を握る力にも個人差があった。サッカーに向いている子が二人いた。もう寝返りをうつ子もいた。
- ④ 今回は初めてだったので、話す人数が少なかった。次回はもっとたくさんの人と話したい。次来た時に、どれくらい力が強くなっているかななど、気づけたらいいと思う。

**2009/07/11**

- ① 今日はおすわりができる赤ちゃんとおもちゃで遊んだり、手をつないでリズムをとったりした。おもちゃをすぐに口に運んだりしてとても可愛かった。
- ② 前回はお父さんと話せなかったので、今日はお父さんと苦労する点や将来はこうしたほうがいいなど、お父さん目線から見た赤ちゃんに対する接し方を教えてもらった。
- ③ 赤ちゃんはとても成長するのが早く、前回にはしてなかったことなど、いろいろな変化が見られて良かった。あと一步で「はいはい」ができる赤ちゃんにはがんばってもらいたいです。
- ④ 次回は「はいはい」ができていると思うので一緒に「はいはい」がしたい。

**2009/9/12**

- ① 今日、3人の赤ちゃんとおふれあい、2人が「つかまり立ち」ができ、1人がまだ「つかまり立ち」ができなくて、成長にはやはり個人差があると感じた。2か月空いていて、赤ちゃんに歯が生えていたのでびっくりした。
- ② 今日はあまり話さず、ずっと赤ちゃんと遊んでいました。

- ③ 改めて成長には個人差があることに気づかされた。2 か月空いただけなのに、歯が生えていたし、赤ちゃんの成長の早さは大人よりすごいと思った。7 月のときは手をにぎってくれたが、今回はにぎってくれなかった。喃語も「ニー」「バー」ではなく「アー」とか「アアーアー」などが多かった。「つかまり立ち」のできる赤ちゃんとふれあえて、とてもよかった。
- ④ 今回は保護者の方と話せなかったなので、次回は話せたらいいと思う。

#### 2009/10/10

- ① 今日は赤ちゃんがお疲れのようで、あまりふれあうことができなかった。最後に少しだけ抱っこなどができた。
- ② 今日はあまり話すことができなかった。
- ③ 今日初めての「たち」が見れてよかった。喃語がこの前と違っていた。もうピンセットつまみができる子がいた。
- ④ 次は親ともっと積極的に話したいと思う。ピンセットつまみができる子が何人になっているのか確かめたい

#### 2009/11/14

- ① 赤ちゃんが眠たそうだったので、あまり相手にしてもらえず、悲しかったです。
- ② どの程度歩けるのかや、飲み物の変化について。
- ③ 今回は赤ちゃんひとり一人のくせを見ることができた。赤ちゃんは、うれしい時や喜んだ時にそのくせをしていた。
- ④ 次回は体験学習が最後で、1 歳になった赤ちゃんの成長を見えるのでとても楽しみです。

#### 2009/12/12

- ① お菓子をあげたり、抱っこしたりした。
- ② 歯のことなど。
- ③ やっぱ個人によって成長するスピードが違った。
- ④ 5 月～12 月までの約半年、子どもの成長スピードや喃語などについて学びました。今まで知らなかったことなどを知れてよかったです。

#### **No.4 T.T. 男**

#### 2009/5/9

- ① 抱っこ、握手など。ぶにぶにでした。
- ② 生活で注意することなど。5 か月になってくるとどのようになっていくか。
- ③ 2 つの家庭で今日から離乳食デビューでした。一人のお母さんがテニスをやっていたらしく、話が盛り上がりました。
- ④ 今回ふれあった「のぞみ」君の成長が気になりました。もっと基礎知識が必要だと思いました。

#### 2009/07/11

- ① 5 月に会ったときより、とてもアクティブで、おもちゃを目の前で動かすと、目で追って手でつかもうとしたり、とっても元気でした。
- ② Q：最近では、どのようでしたか？ A：「はいはい」まではいかないけど、足をつかって

よく動き回るので目が離せません…（笑）

- ③ 5月の時より、感情が出やすく、笑ったり・ぐずったり・泣きだしたりと、こちらも赤ちゃんがどう思っているかが分かりやすかった反面、大変でした。
- ④ 今回より何ができるのか、どんな言葉を話すのかと、楽しみです。

#### 2009/9/12

- ① 途中泣きだしたのでビックリしたけど、「眠たい」から泣いているのだと言われて、その後すぐ寝てしまった時はすごいと思った。
- ② 家ではとっても動き回るよって言われました。
- ③ 物を隠しても、自らハンカチを取ったので「対象の永続性」が身についているんだなあーと思いました。
- ④ 次の講座で学んだことを実験してみたいです。

#### 2009/10/10

欠席

#### 2009/11/14

- ① どの赤ちゃんも眠そうでした。
- ② 離乳食のことについて聞いたら、もう普通の食事をとっているそうです。
- ③ ハイハイによる行動範囲の広さが尋常じゃなかった。
- ④ 最後なのでいい思い出が作れるように頑張る。

#### 2009/12/12

- ① どの赤ちゃんも元気でアクティブでした。
- ② 歯のことについて、とても盛り上がりました。
- ③ 1回目と比べて、とても成長したことが感じ取れ、「アーアー」としゃべる赤ちゃんもいて感動しました。
- ④ 一人ひとりの成長過程はそれぞれだけど、成長していると毎回思っ、とても興味深いものでした。

#### No.5 M.Z. 女

#### 2009/5/9

- ① 立つのが好きな赤ちゃんを支えながら立ちさせてもらいました。まだ小さいのに結構重くて、力もあって、すごいなあと思いました。指に力を入れたり抜いたりできていたびっくり。足の力の強い子もいて、驚きました。
- ② 赤ちゃんが急に泣き出してしまうことがあって、そういった時は、赤ちゃんが何かを求めているサインで、おっぱいが欲しかったり、げっぷしたいのに出なかったり、おむつが湿っていて気持ち悪かったり…。いろいろある中で一番原因になるのは、眠い時だと教えてもらいました。
- ③ 皆、同じ5か月くらいの赤ちゃんだけど、出来ること・出来ないことがあるということ。赤ちゃんの表情がけわしくなったり嬉しそうだったり、泣きそうになったり、表情の変化が激しくすごいなあと思った。
- ④ お母さん、お父さん、赤ちゃんとちゃんと目を合わせてあいさつしようと思った。赤ちゃん

んに話しかける時は、できる限り赤ちゃんと視線を合わせて話ができたらいいなと思います。

#### 2009/07/11

- ① 赤ちゃんにおもちゃを持ってもらおうと、器用に3つのおもちゃを持つこともできて驚きました。まだ、自分より少し遠くにあるおもちゃを取るのは難しそうでした。ぐずって来たら抱っこしてあげるといいみたい…。
- ② まだ人見知りをそんなにしにみたいです。小さいのに結構重たいこと！抱っこするときは、横向きに抱くより、縦向きに抱っこしたほうが良いみたいで、ぐずったときに縦向きに抱っこしてあげると、少し落ち着いていました。
- ③ おもちゃや自分の気になるものをつかむと、まず、それを口に持っていったり、ふつてみたりしていること。ぐずって来た時に、抱っこして立つと、少し落ち着くみたい？やっぱり人見知りする子が多くて、泣いている赤ちゃんが多くてびっくりしました。
- ④ お父さん・お母さんともっと話をして、その子について教えてもらおうこと。パパママセミナーや赤ちゃんに触れあう合う前の学習の時間に教えてもらったことを、実際に試してみても赤ちゃんの反応を見ること。

#### 2009/9/12

- ① 赤ちゃんにおもちゃをつかんでもらおうとピンセットつまみができていて、指の先っぽにすごく力を入れてつかんでいました。目の前のおもちゃをタオルで隠すと、すぐタオルを払って見つけていてすごいなと思いました。
- ② 立とうとするとき、つま先立ちみたいな感じで立つということ。
- ③ 2 か月会っていないだけなので、できる事がたくさんできていて、ハイハイもすごく早くて、びっくりしました。目の前のおもちゃをタオルで隠したとき、すぐにタオルをどけておもちゃを見つけれられていたので、すごいなと思いました。
- ④ つかまり立ちをするときのひざの状態を見てみたいです。

#### 2009/10/10

- ① 名札の引っ張り合いっこをして遊びました。結構力が強いんだなあと思いました。
- ② 赤ちゃんの好きなおもちゃについて… 普通のおもちゃよりも名札やペットボトルなどが好きな赤ちゃんなんだなと感じました。
- ③ タオルでおもちゃを隠しても、とても素早くその隠したおもちゃを見つけていたので、その素早さに驚きました。指がとても器用に動いていてすごいななあと思いました。
- ④ もっと積極的に遊べるように頑張りたいです。

#### 2009/11/14

- ① ちょっと眠い時間とお腹が空いてくる時間が、ちょうどふれあう時間で、ご機嫌ななめで、お母さんに抱っこしてもらっている間は少しマシだったりして、やっぱりお母さんにはかなわないなと思いました。
- ② 眠いのと、お腹が空いているのと、少し人見知りがあるので、泣いてしまうことが今日は多くありました。「そらきよ」君は、この時間帯はおねむの時間なんだなあと思いました。
- ③ 鉛筆を持って紙にお絵かきをしていて、手（指）の力加減ができるんだなあ、と思いました。

た。壁伝いに歩いている子もいて、すごいなあと思いました。

- ④ いろんなことをして遊びたいです。次回で最後なので、いちばん最初にふれあった時と何が違っているのか注意深く見てみたいです。

#### 2009/12/12

- ① 今日は、もらったお菓子を食べていてすごく可愛かったです。お茶とかも器用に飲んでいて、すごいなあと思いました。脇の下をくすぐると、くすぐったがって笑ってくれたので、すごく可愛かったです。
- ② あまり話はしなかったです。
- ③ ジュースをもらったのですが、ストローを上手にはがして、結構力があるんだなあ〜と驚きました。細かく（小さな）お菓子も上手につまんでいたのも、すごく指先が器用なんだなあ〜と思いました。
- ④ 今、最初のふれあいを思い出すと、赤ちゃんの成長のすごさに感動します。はじめに赤ちゃんに会ったころ、どんな感じだったかな〜と思い出すと、寝たきり（？）だった赤ちゃんたちが今は、つかまり立ちができたり、すごい勢いでハイハイしてたりして、最初のことには考えられないような成長ぶりで、それをふれあいを通して知ることができて本当によかったなあ、と思いました。今まで本当にお世話になり、ありがとうございます。「あーち」で学んだことをいかして、これからも頑張っていきたいです。

#### No.6 Y.T. 女

#### 2009/5/9

- ① 手をずーっと握っててくれました。すごい小さな手なのに、力が強く握っているのに必死って感じがすごくかわいかったです。
- ② 「かずと」君は、夜泣きはしないらしいけど、授乳で2〜3時間ごとに起きるらしくって、大変そうだったけど、自分の子だからそんなの関係ないんだなあと思いました。
- ③ お母さんの顔をよく見ていて、お母さんが笑ったら「かずと」君もにこにこ笑って、ちゃんとお母さんのこと見てるんだなあと思いました。
- ④ もっともっと赤ちゃんの親と話して、赤ちゃんを抱っこしたいです。

#### 2009/07/11

- ① 赤ちゃんを抱っこした時、最初ちょっと泣かれました。知らない人に抱っこされて驚いたのかなと思ったけれど、徐々に慣れてきたのか、にこにこ笑ってくれてうれしかったです。
- ② 最近、よく寝るってことを話しました。
- ③ 1つ目のおもちゃを渡したとき、それに夢中になって遊んで、2つ目を渡したら次はそれに夢中になってました。1つ目と2つ目を両手に持って「どっちがいい？」って聞いたら、最初はどっちもずっと見てて悩んでたみたいだけど、1つ目を選んでました。やっぱり、最初に遊んでた方が気にいってたんだなあと思いました。
- ④ もっともっといっぱいおもちゃを与えて、いっぱい抱っこしたいです。

#### 2009/9/12

欠席

#### 2009/10/10

- ① 赤ちゃんを抱っこしたり、おもちゃを渡したりしました。手を差し伸べたら、赤ちゃんは私の手を握ってくれました。おもちゃを渡したら、同じ黄色と青色のボールでも、色の好みだったのか、青のほうをずっと持っていました。
- ② 赤ちゃんの日常生活について話してくれました。離乳食はすごくたくさん食べるみたいで、なくなったら「もっとちょうだい」といったようなことを表現するらしいです。昨日やっていたことが今日いきなりできた！というようなことが結構あるらしく、赤ちゃんはたった1日ですごい成長するんだなと思いました。
- ③ 赤ちゃんはたった1日ですごい成長するんだなと思いました。今日ふれあった赤ちゃんは、よく手を合わせてパチパチしていました。
- ④ 今回は赤ちゃんのつかまり立ちを見れなかったのですが、次回は見たいと思いました。

#### 2009/11/14

- ① 赤ちゃんにおもちゃを与えて遊びました。先月に比べると同じボールを与えても遊び方が変わっているように思いました。
- ② 今回はあんまりお母さんと話せませんでした。
- ③ たった1か月でも、おもちゃの遊び方が変わっていたり、身体も大きく成長してて、先月見たときよりも全然違っていました。
- ④ おもちゃを与えて、次回はそのおもちゃをどんな風に遊ぶのか見たいです。あと、もっと赤ちゃんのお母さんといろんな話をしたいです。

#### 2009/12/12

- ① お菓子をあげたり、おもちゃを与えたり。お菓子をあげたら、必死で全部食べようとしているのがかわいかったです。
- ② お菓子をあげたら必死に食べていて、最後の一口になると、なかなか食べようとせずにじらして、かわいかったです。
- ③ 半年前に比べると、本当に大きくなったなと思いました。夢中になっていることを邪魔すると怒ったり、表情も怒っていたりして、すごく成長したなと思いました。
- ④ 5か月の時の赤ちゃんは、まだ座ることができなくて、顔もみんな一緒のような顔で、本当に赤ちゃんっていう感じでした。でも1か月後、そのまた1か月後に会って、だんだんと成長していて、今では立つこともできて本当に感動しました。とても良い経験ができてよかったです。

#### No.7 Y.N. 女

#### 2009/5/9

- ① とても小さくてかわいかった。手をずっと握っていてくれてうれしかった。体がふにゃふにゃだった。
- ② 学校のこと、赤ちゃんのことを話した。とても楽しくしゃべれてよかった。
- ③ 赤ちゃんはずっとバタバタしている。目が合うと笑ってくれる。眠いと服に顔をこする。かわいかった。
- ④ 笑顔で接する。表情がかたくなならない。

#### 2009/07/11

- ① 今日は泣いている赤ちゃんが多いような気がした。「あ〜」で叫んでる赤ちゃんも多かった。おもちゃを近づけると手にとって口に持っていく赤ちゃんがほとんどだった。
- ② 赤ちゃんの髪がなかなか生えないとか、「寝はげ」ができる話をしてもらった。
- ③ 今日は首がすわっている子がほとんどで、すごい成長が早いなと思った。指を長い時間にぎらないようになった。
- ④ どんな風にまた成長しているかを見たい。

#### 2009/9/12

- ① みんな普通におすわりできるようになっていて、成長が早いと思った。よく笑ってよく泣いていた。物をずっと目で追うようになっていた。
- ② すぐ物を口に運んでしまうこと。
- ③ つかまり立ちする子がいて、前まではおすわりだったのにすごいと思った。でも成長の仕方はやっぱりばらばらだと思った。
- ④ 今日みたいな実験の違うパターンができれば良いと思う。

#### 2009/10/10

- ① おもちゃを口に持って行って食べようとしていて、人見知りの子もいたり寝ていたりして、人それぞれだと思った。
- ② あまり話していません。
- ③ 人見知りの子がいた。表情が豊かになっていた。
- ④ 成長をしっかり見て、新しくできることをいっぱい発見したい。

#### 2009/11/14

- ① 1つのおもちゃでずっと遊んでいた。おもちゃの好き嫌いがあるのかなと思った。意志がはっきりしていた。
- ② 人見知りなので将来が心配とか、自由気ままに生活しているとか、おもしろい話があった。
- ③ 歯が少し生えてきたのかなと、はっきりは見えなかったけど、思いました。お母さんが、赤ちゃんはペットボトルとかラップの芯とかで遊ぶから、おもちゃを買わなくてすむと言っていて、身近なものでも遊び道具になるんだなと思いました。
- ④ おもちゃの使い方・遊び方を少し工夫して遊べたら良いかなと思います。

#### 2009/12/12

- ① 今日は最後で、赤ちゃんとお父さん・お母さんの前でいろいろ発表して、みんなが真剣に見てくれてうれしかったです。見ていない赤ちゃんもいたけど、みんな元気そうなので良かった。
- ② 良く寝る子で、昨日は12時間寝たこと。よく食べる子。
- ③ みんな、歯が生えていてかわいかった。立っちしている赤ちゃんもいて、成長したなと感じました。
- ④ 赤ちゃんの成長はとても早いなと思いました。親の皆さんもとっても赤ちゃんを愛しているんだなと思いました。私もちゃんと自分の親に感謝したいと思います。そして、この経験を生かして大学に行ったらしっかり勉強したいです。

#### No.8 K.U. 女

2009/5/9

- ① ひとりで抱っこさせてもらった。すごく小さくて、やわらかかった。
- ② 産後の1～2か月のこととか。お母さんによっていろいろな体験(?)があるんだなと思った。
- ③ 赤ちゃんによって、髪の毛がうすかったり濃かったりしていて、人それぞれなんだなと思った。
- ④ もっとお母さんたちとしゃべれる様にしたい。次は男の子とふれ合ってみたい。

#### 2009/07/11

- ① 抱っこさせてもらった。手をなめられ、歯が生えてきているのが分かった。一点をじっと見つめていて、たまに笑ってくれた。
- ② 私はまだ離乳食が始まっていないと思っていましたが、もう始まっていると聞いて驚きました。
- ③ 今日は人見知りされると思っていましたが、まだ人見知りはしていないので安心と驚きがありました。
- ④ 抱っこしているときに泣かれても、ちゃんとあやせるようになりたいと思いました。今回はあんまりお母さんと話せる機会がなかったので、次回からはもっと話せるようになりたいです。

#### 2009/9/12

- ① ボールを持って地面にたたいたら赤ちゃんがマネをされていてすごく感動しました。自分(赤ちゃん)が持っているおもちゃを私にくれました。「いないないばあ」もしましたが、笑ってくれませんでした。まだ「いないないばあ」が分からないのかもしれないと思いました。
- ② はいはいをしているかを聞いたら、まだ、はって移動するだけだ(??)ということを知りました。
- ③ まわりにつかまって立つ(支える)モノがなかったので、赤ちゃんのお母さんが赤ちゃんを抱っこして立たせた時に、ガニ股で立っていたので、立つときはガニ股なんだと思ってちょっと感動と言うより赤ちゃんから学んだ気がしました。
- ④ 今回は赤ちゃんとはっきり遊んでしまっていて、赤ちゃんのお母さんと話せなかったのも、次回はもっときちんと話せたらと思っています。

#### 2009/10/10

- ① 一緒に遊んだり、手の動きを見ていました。前に反応しなかった物に反応して驚きました。
- ② 1か月の成長は早いですね、と話しました。本当に先月と今月とでは、違い過ぎると実感した。
- ③ 人の持っている物や人の物を欲しがって、自分の物にしようとしていた。
- ④ 積極的にいきたいです。

#### 2009/11/14

- ① 今日は赤ちゃんとそのお兄ちゃんとふれあいました。赤ちゃんは好き嫌いと言うより、興味がある物やない物があることを発見しました。
- ② 赤ちゃんが興味ある物について話しました。個人個人、個性が出てきているんだなと感じ

ました。

- ③ やはり、赤ちゃんとふれあうときに、自分自身どうしていいか分かりません。
- ④ 次回は、今回よりもっと赤ちゃんとふれあっていきたいと思いました。

#### **2009/12/12**

- ① 赤ちゃんが私の顔をじーっと見ていたので、「よっ」と言いながらコミュニケーションをとりました。
- ② 赤ちゃんの泣き声で何をして欲しいかが分かるようになるということが本当かどうか聞いて、「分かる」といわれたので、そういうことが分かるものなんだなあと思いました。
- ③ ほぼ一歳なのに、いろんな赤ちゃんがいることに気づきました。だんだん個人差が出てきてるんだなあと感じました。今日は、5か月～12か月の赤ちゃんの成長を感じました。
- ④ 5月から12月を通して赤ちゃんの成長が本当に早いんだなあと思いました。最初の頃は、どんな「ふれあい」をしたら良いかわからず困っていましたが、今月になると最初の頃よりは、どんな「ふれあい」をしたらいいか分かってきました。「あーち」での経験を通して、大学でもたくさんのことに挑戦したいです。

#### **No.9 M.F. 女**

#### **2009/5/9**

- ① 赤ちゃんの手に指を近づけたら、ずっと指を握っていた。抱っこさせてもらったけど、まわりにすごく興味をもっていた。笑いかけたらすごく笑ってくれた。
- ② 名前の由来、今の時点で子育ては大変かどうか。
- ③ 4か月は、まだ首が完全にすわりきってなかった。まだ人見知りみたいなのは全然なくて、もうちょっとしたら出てくるのかな？って思った。笑いかけたら声を出して笑い返してくれてすごく可愛かった。
- ④ もうちょっと話を聞いて、赤ちゃんを抱っこさせてもらいたい。

#### **2009/07/11**

- ① 赤ちゃんの近くにおもちゃを置いたり、1つつかんだら、もう1つ渡してみたり、おもちゃでいろいろ遊んだ。
- ② 夜泣きのこと。赤ちゃんを産む前とか産んだときのお母さんの気持ち（⇒もともと赤ちゃんに関心がなく、よその赤ちゃんも怖い感じがした。自分の妊娠中も実感がなかったが、出産後は赤ちゃんがすごく好きになった）。これを聞いて赤ちゃんの持つ力はすごいなと思った。
- ③ 前より成長していて、赤ちゃんの手に指を近づけると握り返すという行動はもう見られなかった。おもちゃを渡したら、一つ目に興味を持って、二つ目はあまり興味を示さずすぐに落としていた。
- ④ 今回したことをまだするのかとか、どのように変わっているのかを見てみたい。

#### **2009/9/12**

- ① 赤ちゃんに1つおもちゃを渡してもう1つ渡したり、遊んでいるおもちゃを隠したりして、赤ちゃんの成長は色々だなと感じました。
- ② 人見知りであることや、寝る時間が長いこと、まわりのことに興味をもつことなどを聞き

ました。

- ③ 人見知りや激しかったり、すぐに泣いてしまったり、どんどん自分の感情が出てきていることを感じました。
- ④ 今回したことをもう一度してみて、どのような変化をしているか試してみたいです。

#### **2009/10/10**

- ① おもちゃを渡してみて、どのようなつかみ方をするかや、どのような言葉を発するかや、物をどのようにつかむかなどを見ながらふれあいました。
- ② 最近になってつかまり立ちを始めたことなどを聞きました。
- ③ 今回10か月の子とふれあって、アッアッとかアーとかマーとか言っていたし、何かを掴んで立とうとしたら、いろいろ見れて、とてもいい経験になりました。
- ④ どのように言葉を発するかや、物のつかみ方はどのように変化しているかなどを見てみたいですね。

#### **2009/11/14**

- ① おもちゃを渡したら、前よりちゃんとつかめていました。よく笑っていた。
- ② 今回はあまり聞けませんでした。
- ③ まわりの物にすごい興味を示していて、おもちゃで遊んでいたと思ったら、違う子の靴などで遊んでいてびっくりした。
- ④ もう一回おもちゃを渡してみて、どのようにつかむのかを見たいです。

#### **2009/12/12**

- ① ものを渡したり、赤ちゃんの歩く練習を少ししました。私の腕につかまって歩こうとしていて、とてもかわいかったです。
- ② もう一人で歩けるようになったのか、とか話しました。一人の子は勢いだけだけど5歩歩けるようになったと言っていました。
- ③ ものをあげたら、かすかに「ありがとう」と言っていて、びっくりしました。
- ④ 今まで、赤ちゃんやお父さん・お母さんとふれあうことができ、とてもいい経験になりました。お父さん・お母さんからいろいろ学ぶことができました。実際にお話を聞くこともできて、とても楽しかったです。半年前よりも赤ちゃんのことをたくさん知れたし、お父さんやお母さんの大変さもたくさん勉強できて本当に良かったです。赤ちゃんの成長を近くで見ることができて本当にいい経験になりました。ありがとうございました！

#### **No.10 M.T. 男**

#### **2009/5/9**

欠席

#### **2009/07/11**

- ① はじめてだったけど、お母さんがたがやさしく、子どものあやし方やこの子はこうしたら喜ぶことなど、とても勉強になることを教えてくださいました。
- ② その子の体重やふだんの家での過ごし方、どんなおもちゃが好きだとかなど、いろいろ教えてくださいました。
- ③ 子どもによって、接し方の違いなど、知らないことを学ばせていただきました。

- ④ はじめての抱っこで、力がちょっと入りすぎていたので、次回からはリラックスした状態で抱っこをしていきたいです。あと、今回は今日と違う子どもと接して、また新しいことを学びたいです。

**2009/9/12**

- ① この前と違って、物を掴んでもなかなか離さなくて、2 つ持ったらぶつけ合って楽しそうでした。
- ② 今の状態は喜んでいるんですか、とか、この喃語は「ママ」と言っているんですか、などと話しました。
- ③ 掴むモノや支えるモノがあると、自分立っていたし、ボールが転がっているのを見つけるとハイハイして追いかけていた。
- ④ 次回ふれあうときは、もっと保護者の方の話を聞いてみたいし、赤ちゃんと積極的に遊んでいきたいと思います。今回はちょっと消極的だったので…。

**2009/10/10**

- ① モノには興味を持ってくれなかったけど、足を噛まれそうになった時はビックリした。
- ② 話せなかったです。
- ③ 赤ちゃんによって、物の興味が違うことが分かった。
- ④ もっと親の人と話してみたいし、赤ちゃんに無視されないように頑張りたい。

**2009/11/14**

- ① 2つのおもちゃを持たせると、カチカチという音を出した。
- ② ミルクについて話した。
- ③ 赤ちゃんによって、成長の違いがあることをまた実感した。つかまり立ちの子や、もう普通に立てる子など。
- ④ 来月で最後なので、今月以上に赤ちゃんとおふれあいたいと思います。

**2009/12/12**

欠席